

## 第9回産業日本語研究会・シンポジウム開催のご案内

平成29年11月

- 主催: 高度言語情報融合フォーラム(ALAGIN)、日本特許情報機構(Japio)
- 後援(予定): 総務省、文部科学省、経済産業省、特許庁、国立国語研究所、  
情報通信研究機構、工業所有権情報・研修館、情報処理学会、人工知能学会、  
言語処理学会、日本経済団体連合会、日本知的財産協会、  
アジア太平洋機械翻訳協会、大学技術移転協議会、フジサンケイビジネスアイ
- 日時: 平成30年3月5日(月曜日) 午後1時 ~ 午後6時
- 場所: 東京・丸ビルホール(丸の内ビルディング 7階)  
<http://www.marunouchi-hc.jp/hc-marubiru/access.html>
- 参加費: 無料(事前登録制) ※シンポジウム後の懇談会・意見交換会は要会費

### 【オープニング】

13:00-13:10

#### (1) 開会挨拶

長尾 真 産業日本語研究会 世話人会 顧問／公益財団法人 国際高等研究所 所長  
／京都大学 名誉教授

### 【第一部】グローバル時代の使える日本語文書スキル

13:10-14:40

#### (2) 基調講演

『大学におけるライティング教育—《考える》学生を育てる—』

佐渡島 紗織 早稲田大学教授

2010年頃より、日本では、1年生にライティング授業を履修させる大学が増えた。学生一人ひとりに対するライティング支援を行う大学も急速に増えた。大学ライティング教育は、何を指すべきか。どのような学生を育成して社会に送り込む使命を持つのか。《書く》とは《考える》ことであり、《考える》ことを鍛えるのがライティング教育の目指すところである。

#### (3) 基調講演

『日本に住む外国人の80%以上が理解する「やさしい日本語」の構造』

佐藤 和之 弘前大学教授

「やさしい日本語」という表現法がある。災害への備えで、行政やコミュニティFMが導入を進める。日本に住んで1年以上の外国人なら、漢字圏が非漢字圏に関わらず、等しく80%以上が理解できるようにした日本語である。

外国人に日本語だけど読んでみよう、聞いてみようと思わせる表現規則と情報の配列規則に基づく。命に関わる情報を可能な限り簡潔に、やさしく言い換えて伝える。シンポジウムではそのような「やさしい日本語」の構文を紹介する。

検索エンジンで「弘前大学 やさしい日本語」と入力ください。事前に詳しく知ることができます。

**(4)ポスターセッション**

- ・産業日本語研究会分科会活動紹介
- ・NICT、Japio等の産業日本語に関連する活動紹介

**(5)招待講演**

『法制執務業務の効率化に向けて(e-LAWS<sup>イ-ロ-ウ-ズ</sup>の整備)』

小高 久義 総務省行政管理局行政情報システム企画課・情報システム管理室室長

法制執務業務は、国会対応や予算関連業務と並ぶ国家公務員の業務効率化の重要な鍵。

「霞が関で働く女性有志」の提言を踏まえ、業務省力化・平準化の観点から、ICTを活用し、一連の法案等作成業務を支援する「法制執務業務支援システム(e-LAWS<sup>イ-ロ-ウ-ズ</sup>)」を総務省行政管理局において整備。今後、法案等作成業務の省力化や業務の平準化が期待される所。

また、民間ビジネス等での活用を想定したオープンデータ化を推進するため、「法令標準 XML スキーマ」を策定し、このスキーマを活用して整備した法令データを平成 29 年6月からインターネットでの公開を開始。

本講では、e-LAWS の仕組み、整備に当たって苦労した点、今後の展望等について説明します。

**(6)招待講演**

『大量日本語データから得られる知見の産業応用

ー内容分析から筆者の性格推定までー』

那須川 哲哉 日本IBM株式会社 東京基礎研究所 主席研究員

コールセンターにおける顧客対応記録やレビューサイトにおける消費者の書き込みなど大量のテキストデータを分析し、商品やサービスの向上につなげる取り組みが広がっている。近年では、人の性格が数値化でき性格特性が書いたテキストに反映されるという心理学の知見から、テキストの筆者の性格が推定できるようになった。

本講演では、テキストに書かれた内容の分析に加え、その筆者の性格特性を推定する仕組みと、その結果の活用可能性を紹介する。

**(7)招待講演**

『NTT データの AI 研究事例 ーチャットボットから AI 記者まで』

小間 洋和 株式会社 NTT データ 技術開発本部 主任

近年、生物の脳構造を参考にして考案された最先端の AI であるディープラーニング技術が実際にビジネスで通用する水準にまで進化してきています。ディープラーニングなどの AI 技術を自然言語処理に適用する事例も増えてきており、NTT データでは、アナウンサーが読み上げる原稿を自動生成する

AI 記者や、自然な日本語で接客するチャットボットなどを研究開発しています。本講演では、弊社が AI 技術の発展とともに培ってきた日本語処理技術の応用事例と最新の研究成果をご紹介します。

**【まとめ・クロージング】**

17:30-18:00

**(8) 全体討論（含む、講演者への質疑応答）**

進行役: 井佐原 均 産業日本語研究会 世話人会 代表 / 豊橋技術科学大学 情報メディア基盤センター長・教授

**(9) 閉会挨拶:**

井佐原 均 産業日本語研究会 世話人会 代表 / 豊橋技術科学大学 情報メディア基盤センター長・教授